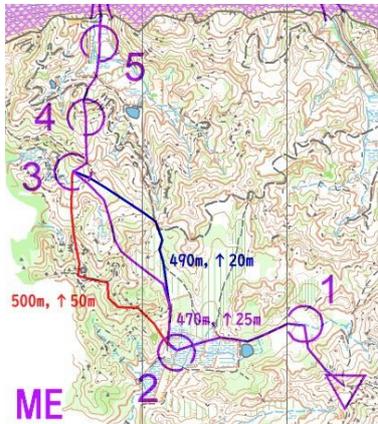


コース解説—E クラス—

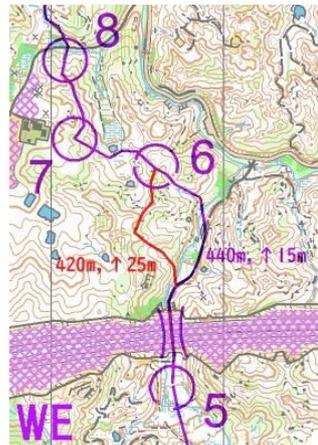
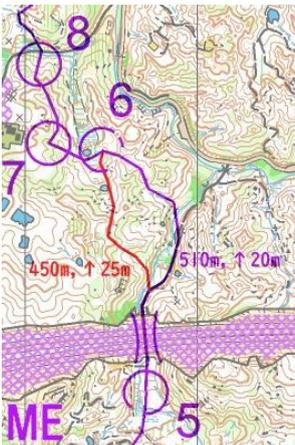
コース設定者の岩井龍之介です。まずはレースお疲れ様でした！
 以下、簡単にですが今回のコースの設定意図と解説をさせていただきます。
 紫がプランナー想定ルートです。

上桐生エリア

序盤は今回のテレイン随一の平らなエリアなので、地形とコンパスを併用したラフ直進を課題としました。2→3 は多少ルートチョイスのあるレグ。尾根ルートはアップもありスピードが出ませんが、まっすぐ・道周りルートはどちらも爽快に走り抜けることができます。



上桐生—平野間



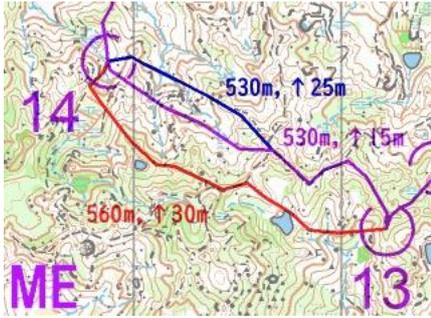
ルートチョイスのあるレグとともに上桐生を抜けて平野に入る繋ぎの部分。上桐生エリアから一転して地形が細くなるので、ラフファインの切り替えが要求されます。登りが集中しない奥からの紫ルートを想定ルートとしましたが、距離が縮むのでしっかり登れば赤ルートも速いかもしれません。

平野エリア東

平野エリアに入る部分。男子・女子ともにポスト数多めでテンポよく回れるようになっています。平野の変化に富んだ地形・植生にうまく対応できるかがポイント。特に男子は見通しの変化が大きく(10→11、12→13など)、距離感を狂わされずスピードを維持できるかが問われます。

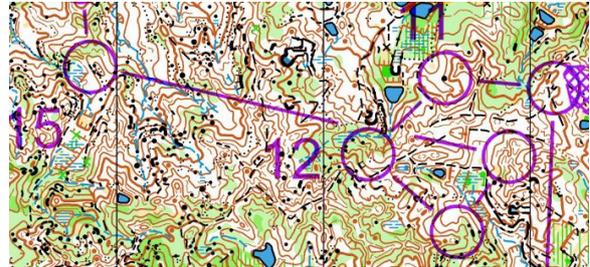


男子 13→14、女子 11→12



本コースの勝負レッグとして初期案から組み入れていたレッグ。ラフな方向維持や岩がちエリアの中でのマイクロなルートチョイス、随所随所の細かい現在地把握が求められ、竜王山西麓というテレインをよく表したレッグになっています。

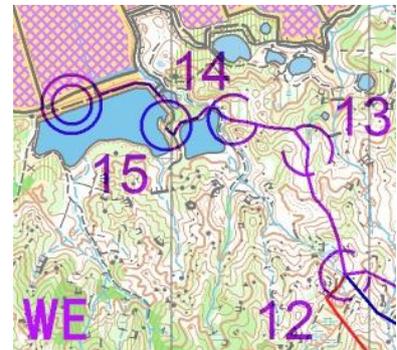
プランナーとしてはもう少し東から飛ばして大胆なルートチョイスを問うレッグとしたかったのですが、回しの都合上比較的短いレッグになってしまったのが少し心残りです…(↓ボツ案)



平野エリア北

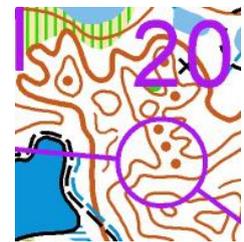
最終盤の回し。ダウンヒル基調のレッグの中、複雑な地形を処理しつつかにトップスピードを維持して走り切れるかが最終的な順位に影響してくるでしょう。

ロングレッグの後のレッグは脱出後の鞍部パラレルの誘発を意識して組みました。



(余談)

終盤のエリアは私が調査・作図を担当したのですが、低く伸びる尾根など複雑な地形の作図にとっても苦労しました。特にラス前付近は平野屈指の微地形が見どころとなっています。右は調査・作図に失敗した例です(笑)。



いかがだったでしょうか。Eクラスのコースは特にスピード感を意識してコースを組みました。関西特有の微地形・見通しの悪い森、そしてその中に時々現れる神秘的な森を駆け抜ける爽快感を少しでも楽しんで頂けたのなら運営者として感無量です。

本大会ではこの解説の他、RouteGadgetのシステムを利用して参加者のルートを共有してもらうことを予定しています。ぜひレースの復習にお役立てください！

あらためて、本大会へのご参加誠にありがとうございました！

コース設定者 岩井龍之介